

「産業技術センター開設 130 周年」「ソフトビジネスパーク島根開設 10 周年」記念式典

H23. 12. 10(土)

主催者として、一言ご挨拶申し上げます。

本日は、「島根県産業技術センター」の 130 周年と、「ソフトビジネスパーク島根」の 10 周年の記念式典にお出かけいただき、誠にありがとうございます。

「産業技術センター」は、明治に廃藩置県で島根県が発足して 10 年後の明治 13(1880)年に、「島根県勸業展覧場」として設立されました。

その後、「工業試験場」として独立した後、「工業技術センター」「産業技術センター」と名称を変え、平成 13 年(2001 年)にこのソフトビジネスパークに移転・整備をしました。

現在、支所の「浜田技術センター」とともに、様々な技術分野で県内企業を支援し、県の産業振興において重要な役割を担っております。

「ソフトビジネスパーク島根」は、「新産業創造の地」を目指し、平成 13 年(2001 年)に開設しました。

この 10 年の間に、多くの企業に立地いただき、現在ここで働く方は 1,500 名を超え、来春には保育所も開設される予定です。

島根の「産業振興拠点」として益々充実し、この地で生み出される製品や技術・サービスが、島根の産業を牽引していくものと願っております。

島根は、古くから大陸と日本をつなぐ重要な場所であり、当時から日本の技術先進地域でありました。

銅剣銅矛の大量出土、出雲大社の巨大建築遺構、石見銀山の隆盛、たたら製鉄など、地域資源と高度技術が融合する文化が、島根の地で生まれ、現代に繋がっております。

「産業技術センター」と「ソフトビジネスパーク島根」は、こうした伝統を受け継ぎ、地域に密着し、地域でご活躍いただいております企業や関係の皆様と一緒に、島根の産業の発展に貢献して参りたいと考えております。

本日もご列席の皆様には、引き続き、「産業技術センター」や「ソフトビジネスパーク島根」、そして「しまね産業振興財団」などを最大限ご利用いただくとともに、ご指導を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

終わりに、島根の産業の益々の発展と、皆様のご健勝・ご多幸を祈念し、ご挨拶いたします。